

## 位置図



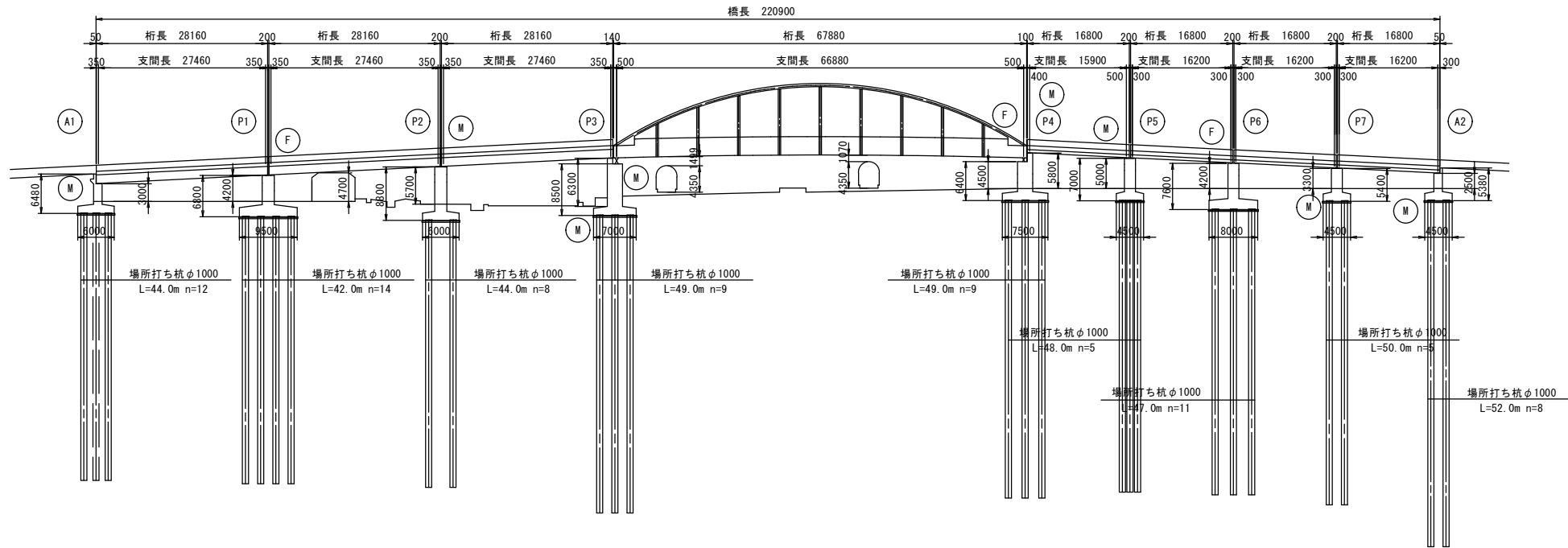


令和7年度 岩木町・飯詰線(新生大橋) 橋梁補修2工区工事	
工事番号	土第7号
路線名	岩木町・飯詰線
施工箇所	五所川原市宇弥生町外 地内
新生大橋 現況一般図(その1)	縮尺 図示
図面番号	6葉中1
五所川原市	

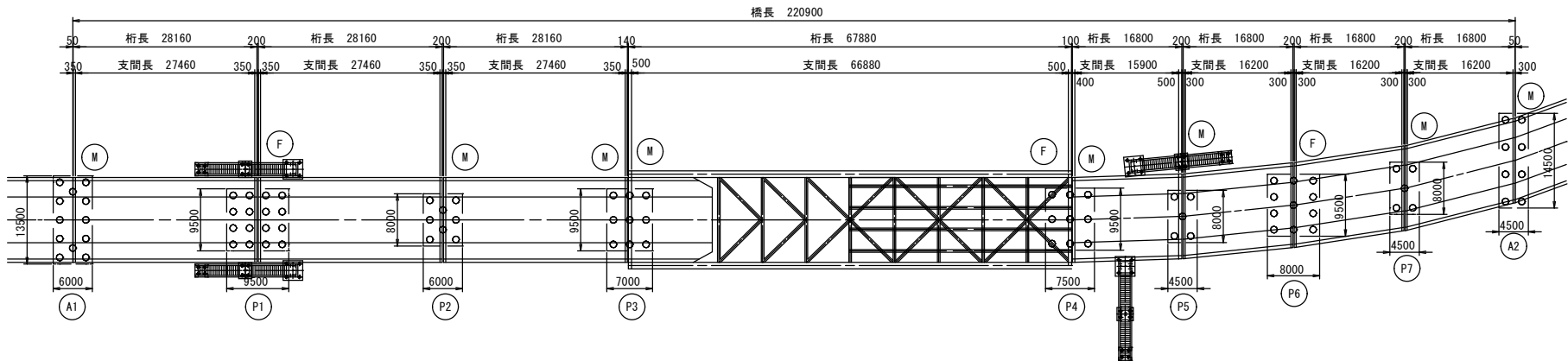


新生大橋 現況一般図(その1)

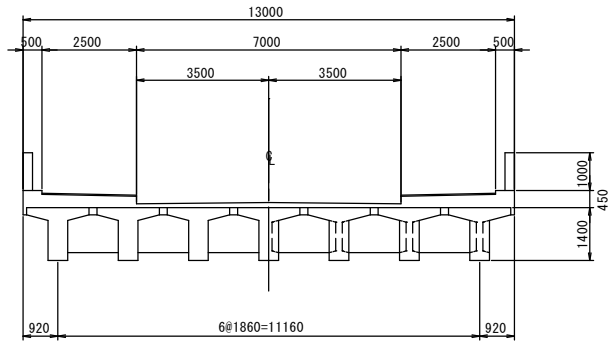
側面図 S=1:500



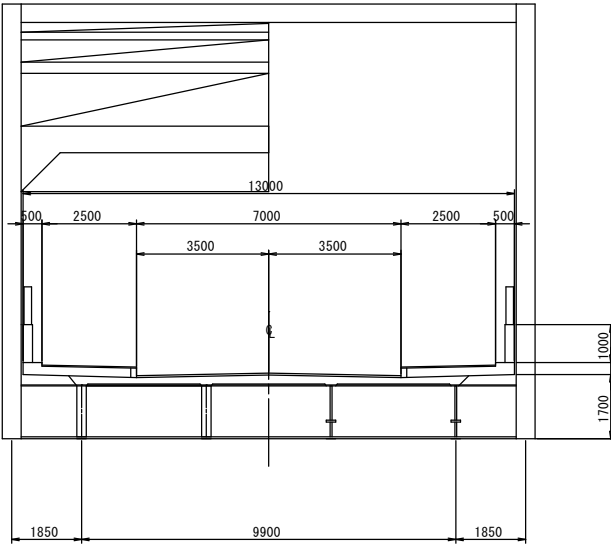
平面図 S=1:500



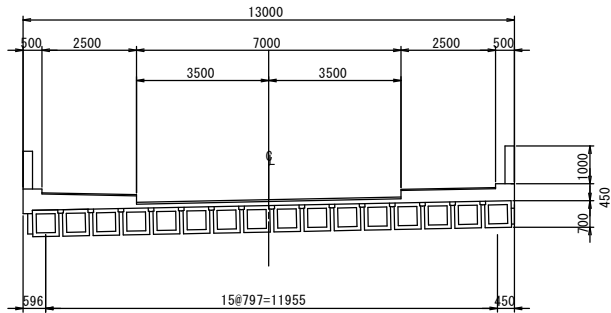
断面図 S=1:100  
1～3径間



4径間



5～8径間



橋梁諸元

橋梁名	新生大橋
交差物件	JR五能線
上部工形式	PCボステン3径間連結T桁、PCプレテン4径間連結ホロー桁
下部工形式	逆T式橋台・T型式橋脚
基礎形式	場所打ち杭
橋長	220.900m
斜角	A1:88° 09' 12" P1:90° 00' 00" P2:90° 00' 00" P3:90° 00' 00" P4:89° 38' 59" P5:85° 46' 26" P6:81° 57' 15" P7:76° 11' 47" A2:74° 19' 33" 道路CLとの角度(既存図より引用)
全幅員	13.000m
有効幅員	12.000m
舗装	50.0mm
架設年月日	1985年4月(S60架設/34年経過)
活荷重	TL-20
適用方書	昭和39年 道路標示方書

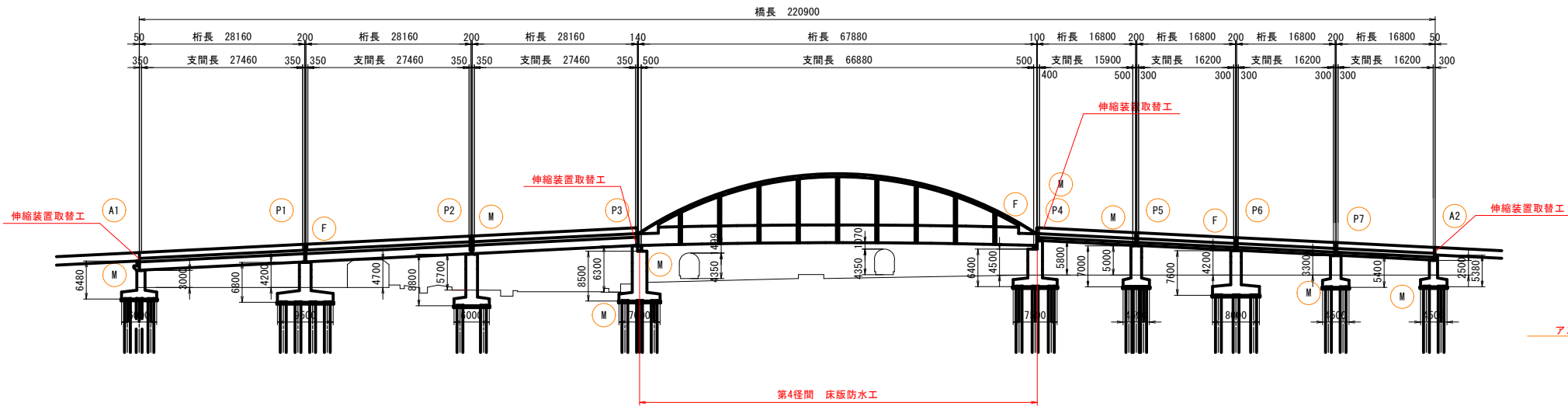
注記  
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。  
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和7年度 岩木町・飯詰線(新生大橋) 橋梁補修2工区工事	
工事番号	土第7号
路線名	岩木町・飯詰線
施工箇所	五所川原市宇弥生町外 地内
新生大橋 補修一般図(その1)	縮尺 図示
図面番号	6葉中2
五所川原市	

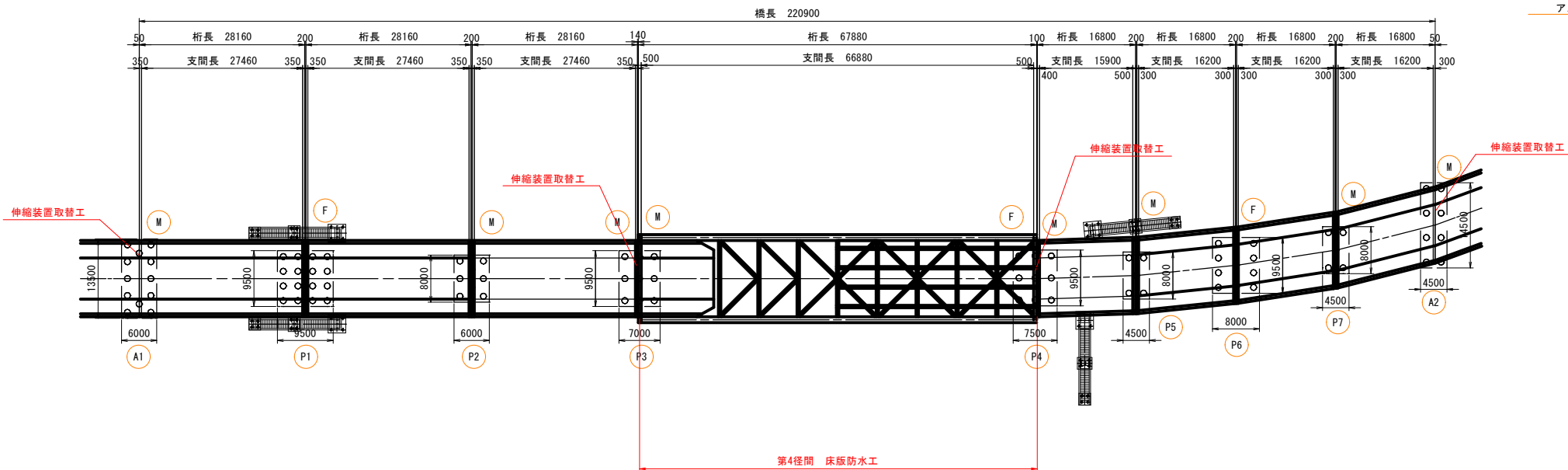
2  
6

新生大橋 補修一般図(その1)

側面図 S=1:500

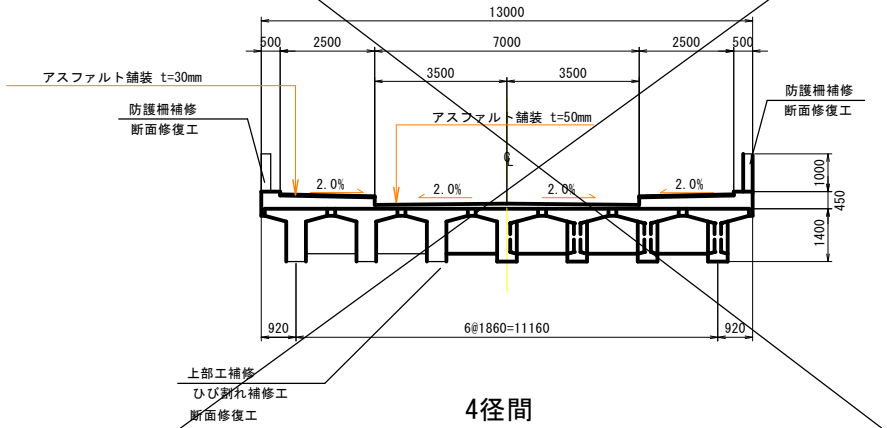


平面図 S=1:500

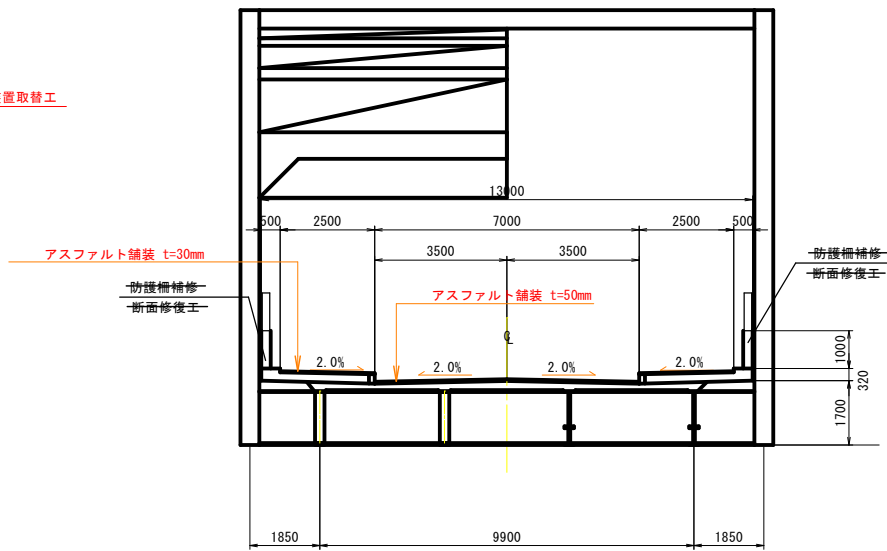


断面図 S=1:100

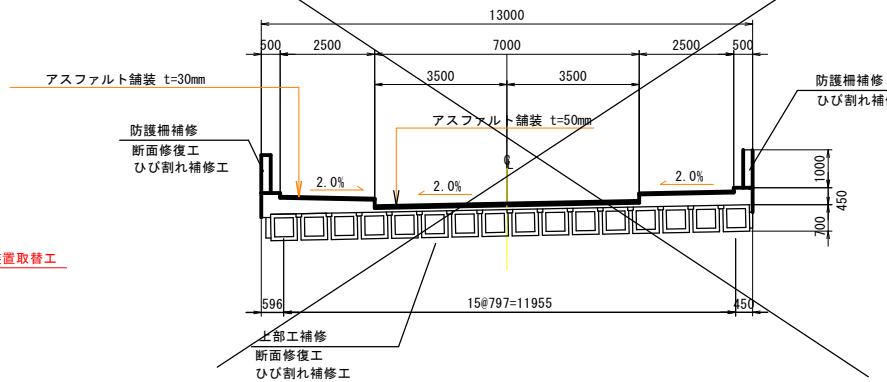
1~3径間



4径間



5~8径間



補修項目

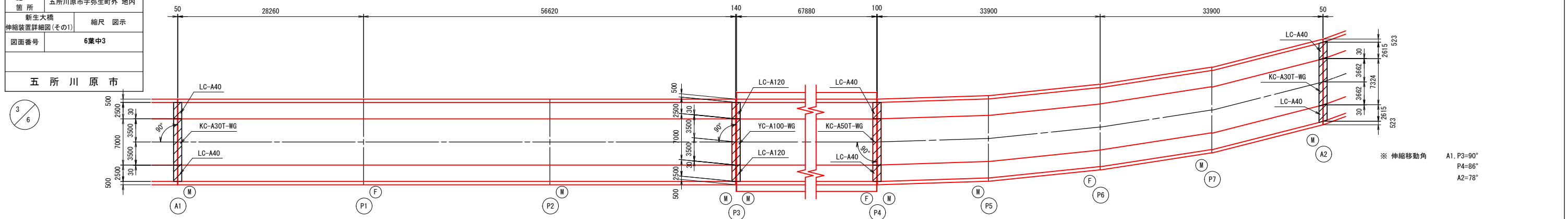
工種	補修工法	備考
上部工	伸縮装置取替工	取替工 (A1、P3、P4、A2)
	床版防水工	複合防水工 (第4径間)

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
  - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

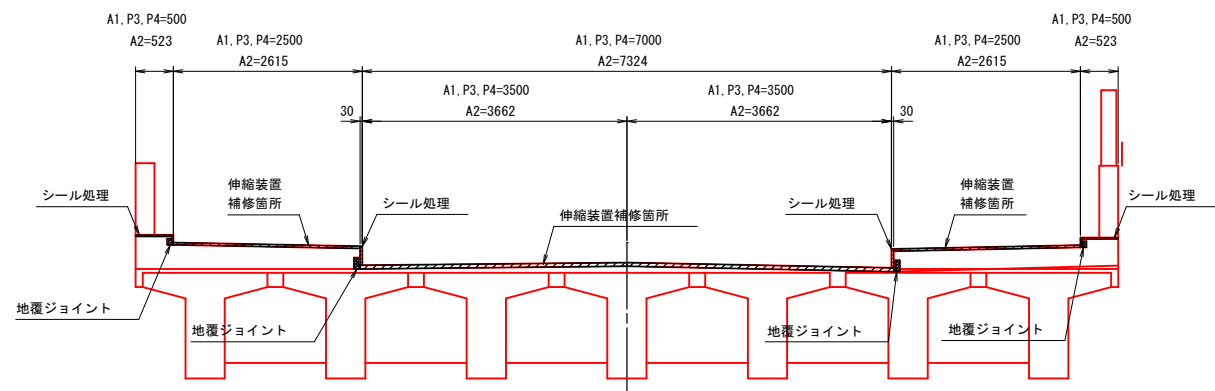
令和7年度 岩木町・飯詰線(新生大橋) 橋梁補修2工区工事	
工事番号	土第7号
路線名	岩木町・飯詰線
施工箇所	五所川原市宇弥生町外 地内
新生大橋 伸縮装置詳細図(その1)	縮尺 図示
図面番号	6葉中3
五所川原市	

## 新生大橋 伸縮装置詳細図(その1)(参考図)

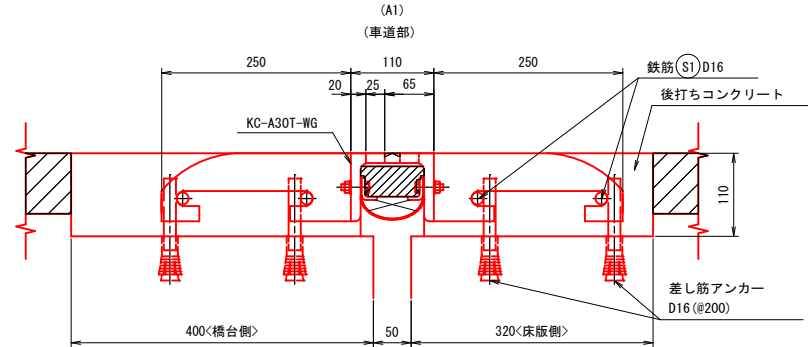
平面図 S=1:300



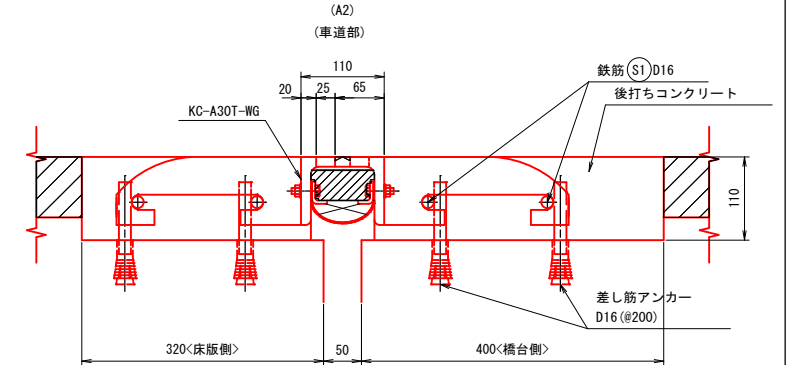
断面図 S=1:50



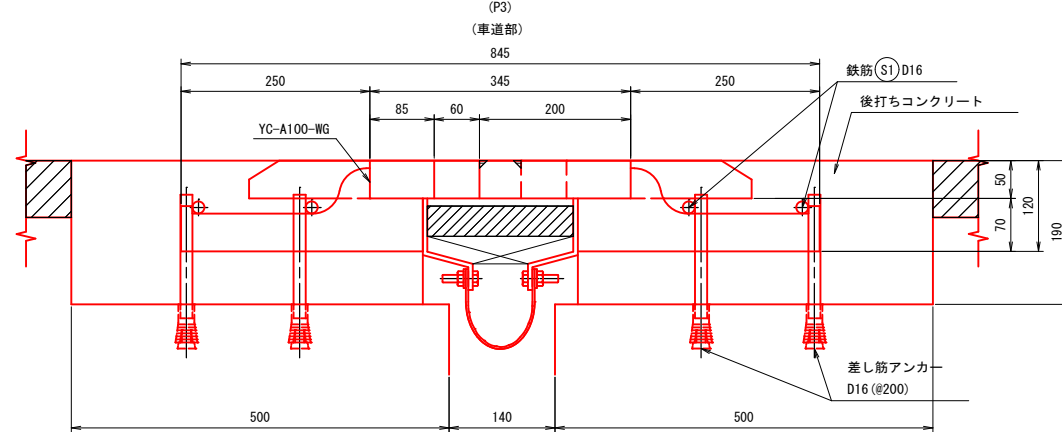
取付断面図 S=1:5



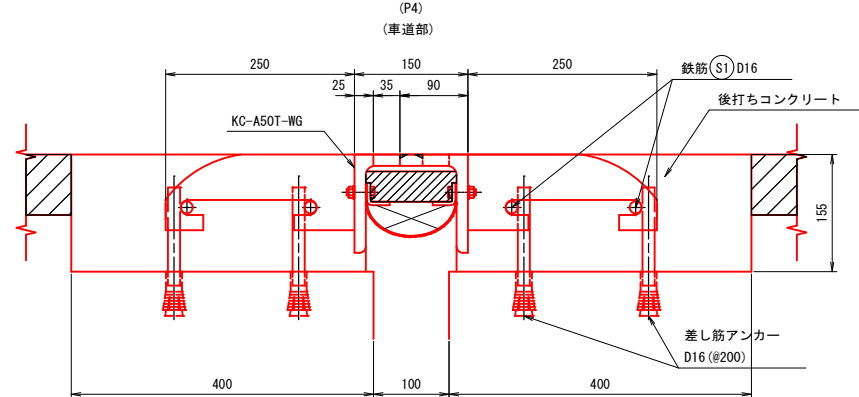
取付断面図 S=1:5



取付断面図 S=1:5



取付断面図 S=1:5



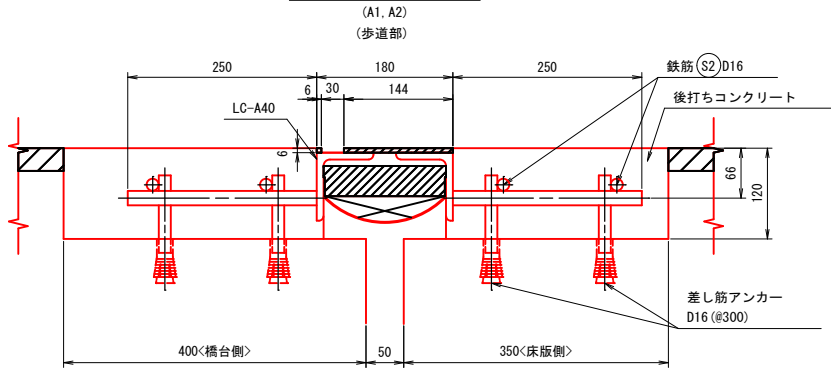
- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
  - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
  - 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

令和7年度 岩木町・飯詰線(新生大橋) 橋梁補修2工区工事	
工事番号	土第7号
路線名	岩木町・飯詰線
施工箇所	五所川原市宇弥生町外 地内
新生大橋 伸縮装置詳細図(その2)	縮尺 図示
図面番号	6葉中4
五所川原市	

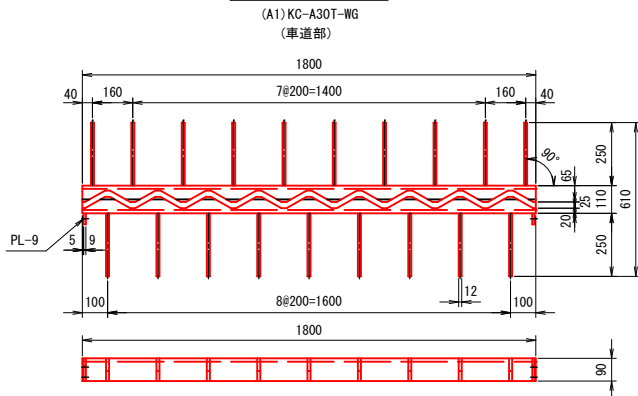


## 新生大橋 伸縮装置詳細図(その2)(参考図)

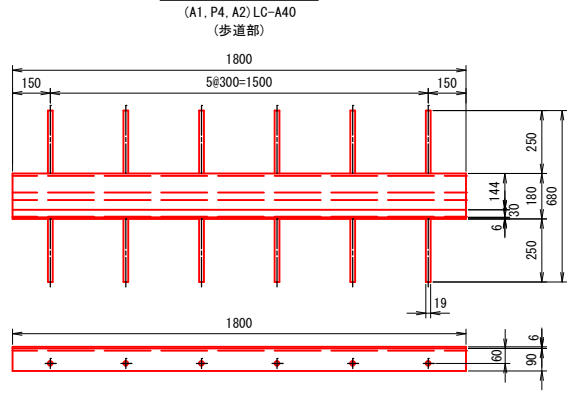
取付断面図 S=1:5



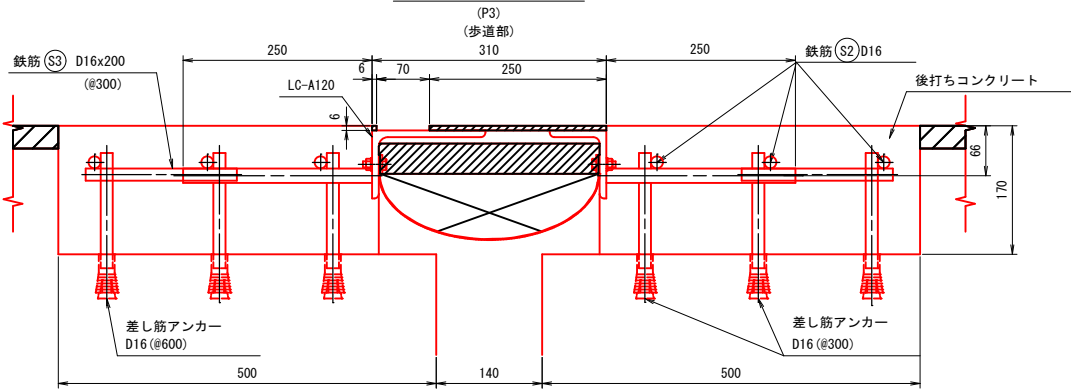
製品図 S=1:15



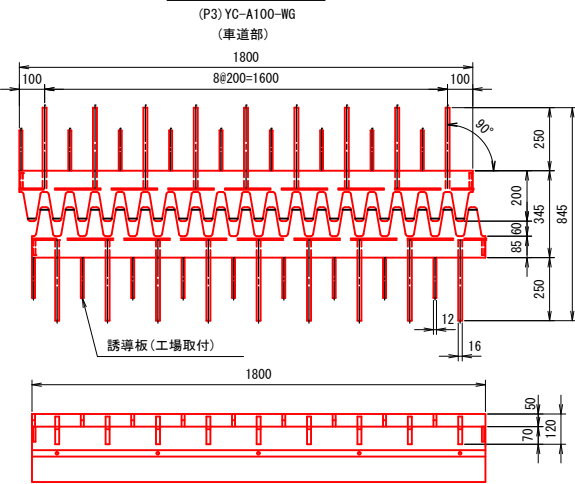
製品図 S=1:15



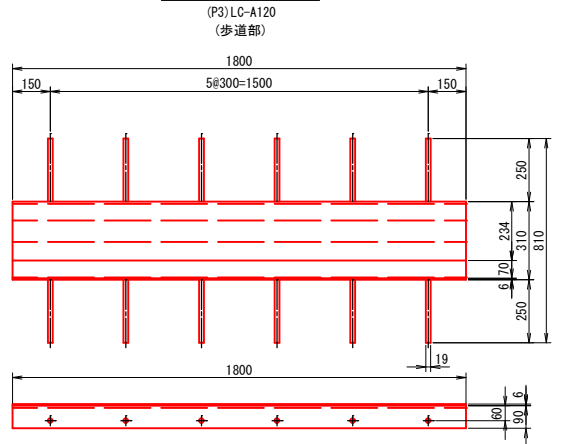
取付断面図 S=1:5



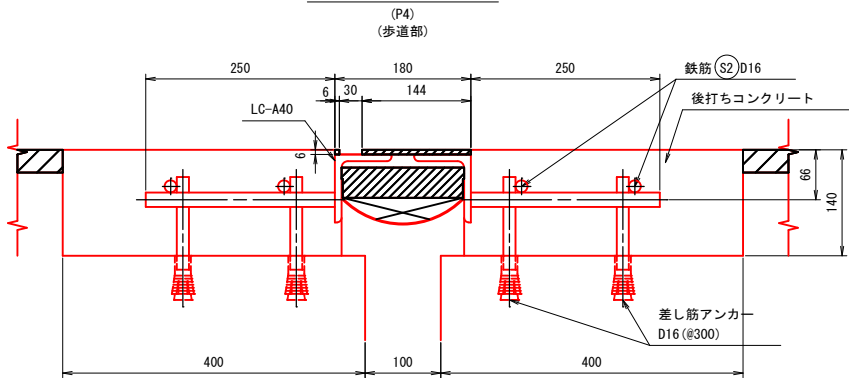
製品図 S=1:15



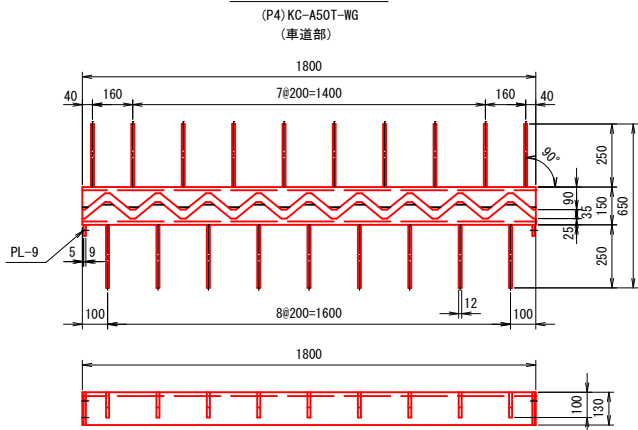
製品図 S=1:15



取付断面図 S=1:5



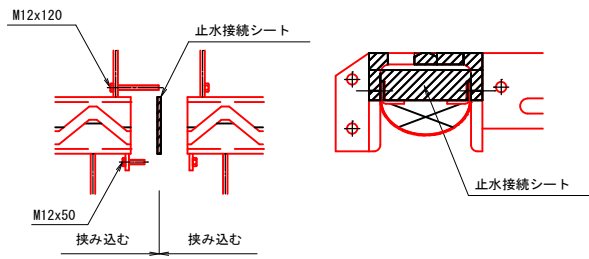
製品図 S=1:15



連結部止水接続シート詳細図

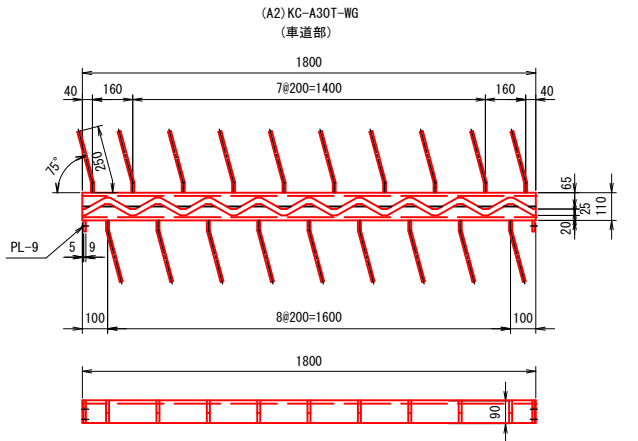
平面図 S=1:10

断面図 S=1:5



※ プライマーを塗布し、指触乾燥後挟み込むこと。

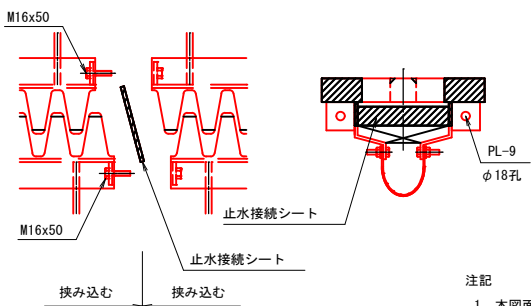
製品図 S=1:15



連結部止水接続シート詳細図

平面図 S=1:10

断面図 S=1:8



注記

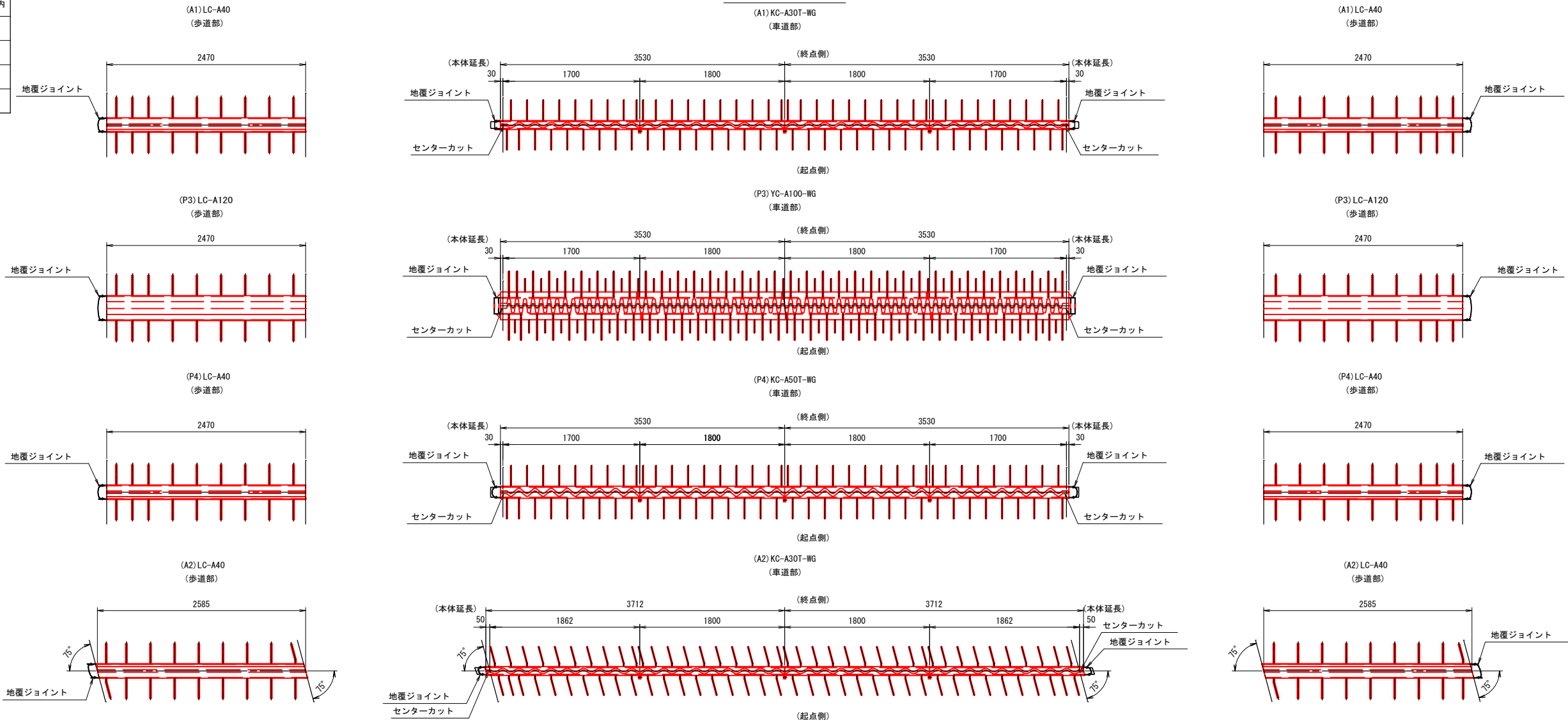
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

令和7年度 岩木町・飯詰線(新生大橋) 橋梁補修2工区工事	
工事番号	土第7号
路線名	岩木町・飯詰線
施工箇所	五所川原市宇弥生町外 地内
新生大橋 伸縮装置詳細図(その3)	縮尺 図示
図面番号	6葉中5
五所川原市	

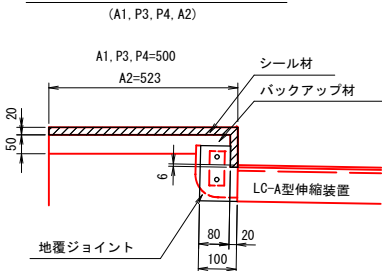


## 新生大橋 伸縮装置詳細図(その3)(参考図)

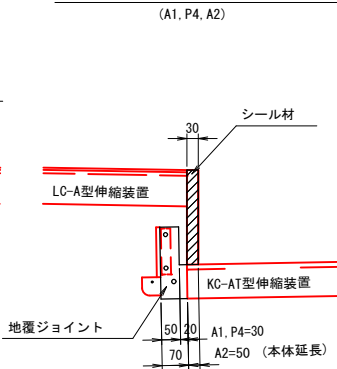
製品割付図 S=1:30



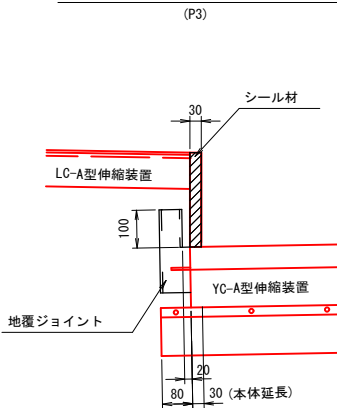
歩道部地覆詳細図 S=1:10



歩車道境界部詳細図 S=1:10



歩車道境界部詳細図 S=1:10



### 数量表

品名	仕様・規格	単位	A1	P3	P4	A2	合計	備考
伸縮装置	KC-A30T-WG	m	7.060	-	-	7.424	14.484	
伸縮装置	KC-A50T-WG	m	-	-	7.060	-	7.060	
伸縮装置	YC-A100-WG	m	-	7.060	-	-	7.060	
伸縮装置	LC-A40	m	4.940	-	4.940	5.170	15.050	
伸縮装置	LC-A120	m	-	4.940	-	-	4.940	
車道用地覆ジョイント		箇所	2	-	-	2	4	伸縮量30mm対応型
車道用地覆ジョイント		箇所	-	-	2	-	2	伸縮量50mm対応型
車道用地覆ジョイント		箇所	-	2	-	-	2	伸縮量100mm対応型
歩道用地覆ジョイント		箇所	2	-	2	2	6	伸縮量40mm対応型
歩道用地覆ジョイント		箇所	-	2	-	-	2	伸縮量120mm対応型
止水接続シート		枚	5	5	5	5	20	
鉄筋(S1)(通し筋)	D16 SD345	kg	43.68	43.68	43.68	45.70	176.74	車道部
鉄筋(S2)(通し筋)	D16 SD345	kg	30.83	46.24	30.83	32.26	140.16	歩道部
鉄筋(S3)(補強筋)	D16 SD345	kg	-	11.23	-	-	11.23	歩道部
差し筋アンカー	D16付 (L=260)	本	148	144	148	156	596	車道部
差し筋アンカー	D16付 (L=260)	本	72	92	72	72	308	歩道部
超速硬コンクリート	$\sigma_{3H}=24.0N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.554	1.330	0.868	0.580	3.332	車道部
超速硬コンクリート	$\sigma_{3H}=24.0N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.450	0.850	0.560	0.471	2.331	歩道部
シール材	ポリブタジエン系	Q	2.34	6.55	4.68	2.40	15.97	地覆部・歩車道境界部
バックアップ材		Q	3.00	8.40	6.00	3.12	20.52	地覆部

- ※ 図面寸法は、標準温度時の値とする。
- ※ 材料製作前に必ず現地寸法の確認を行う事。
- ※ 止水構造は接着剤や加硫接着のみの止水構造ではなく支持用の部材を用いて支持する構造である事。
- ※ 押込力10KN対応型のものとする。
- ※ 50年相当の止水性能(NEXCO試験法438の実施)、および耐久性を有する製品とする。

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
  - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
  - 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

6/6

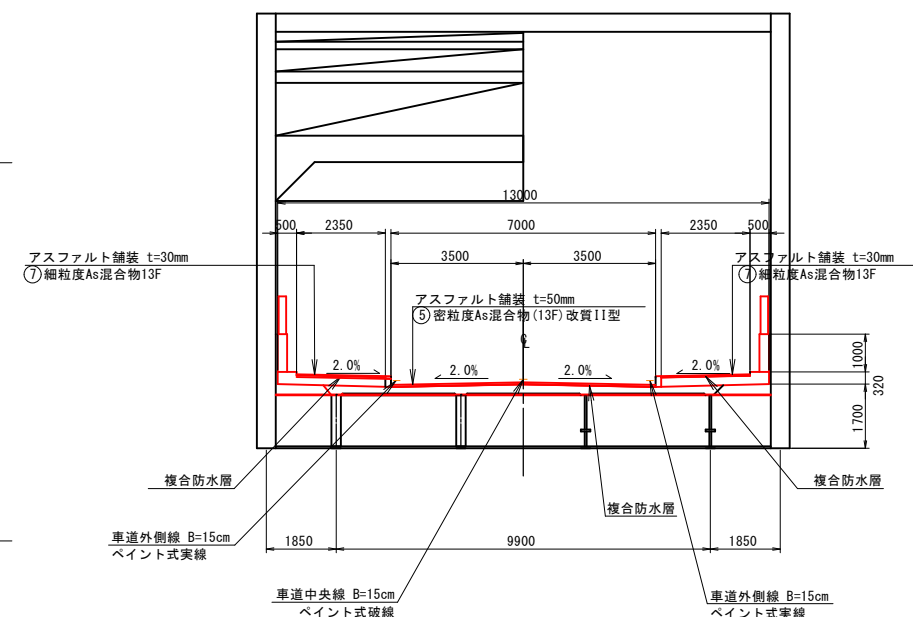
#### 第4徑間

S=1 : 200



## 断面図

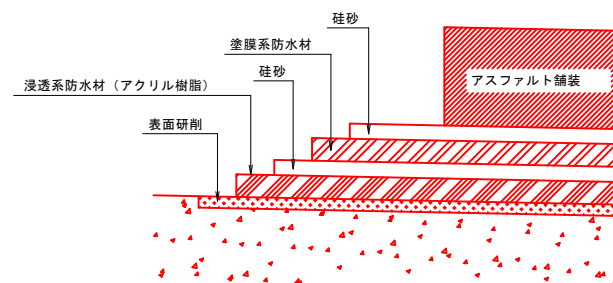
S=1 : 100



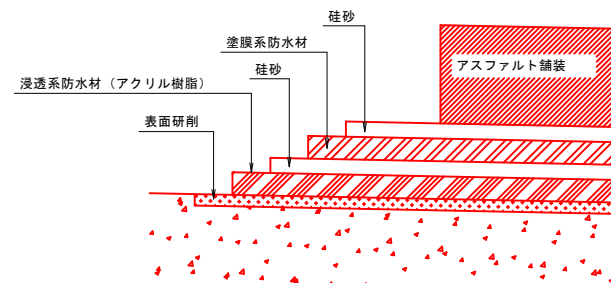
### 数量表

名 称	備 考	数 量
排水用導水管	φ12	134.6 m
	φ18	148.62 m
耐圧ホース	φ19	3.2 m
防水層	複合防水工	780.13 m
成型目地材（t=5mm）	セロシールSS同等品以上	403.87 m
アスファルト舗装新設面積	⑦ 細粒度As混合物13F t=30mm	308.96 m
	⑤ 密粒度As混合物（13F）改質II型 t=50mm	471.18 m
既設舗装撤去面積	t=30mm	308.96 m
	t=50mm	471.18 m
現場削孔	φ20（排水樹用）	8 箇
無収縮モルタル	A=0.012m3	8 箇
コンクリートはつり工	t=50mm	8 箇
車道外側線（実線）白	W=150mmベイント式	134.62 m
車道中央線（破線）白	W=150mmベイント式	33.66 m

## 複合防水工（車道部）詳細図



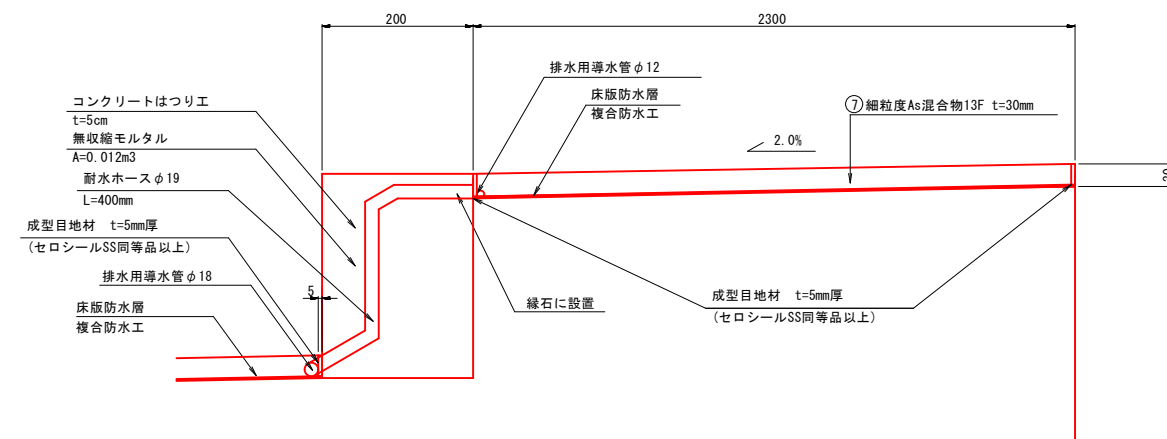
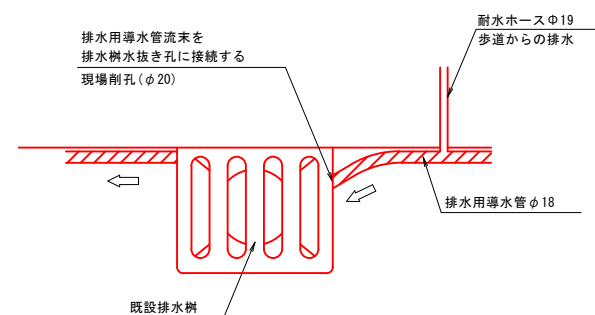
## 複合防水工(歩道部) 詳細図



### 床版防水層詳細図

S=1 : 20

排水用導水管  
排水樹部流末處理詳細図



注記

1. 本図面は、既存資料・現地検測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事により、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 舗装材撤入・撤出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
4. 既存舗装は確実に撤去し橋面防水を設置すること。
5. 床版への影響を考慮し、適切な施工をすること。
6. 舗装撤去後に床版上面を点検し、コンクリート脆弱部は補修すること。
7. 排水装置周りの防水層は、細心の注意を払って施工を行うこと。
8. 排水樹上土砂溜まりがある場合は、土を取り除き清掃を行うこと。
9. 区画線は現状と同様に復旧すること。